

# 激甚化・頻発化する大規模水害に対する迅速かつ確実な避難に向けて 大阪府域の関係機関が、熱のこもった意見交換を実施！

【令和5年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会(大阪府域) 首長会議 を開催】



## 議題

- (1) 淀川管内水害に強い地域づくり協議会について  
規約の改正・協議会の概要・令和4年度の活動報告
- (2) 令和5年度の取組予定：今年度の重点取組
- (3) 意見交換
- (4) 基調講演：「命を守る防災情報 ～実際の避難行動につなげるために～」 気象予報士 片平敦氏
- (5) 今後の予定

## 意見交換

◆各機関の取組について、意見交換や情報共有を行いました。

## 1) 要配慮者施設の避難確保計画・訓練について

・火災避難訓練の際に、水防法に基づく訓練も併せて実施している施設もある。(大阪市) / ・フルスペックな訓練ではなく、職員のみを対象とする等工夫して訓練の実施率をあげていきたい。(守口市)

## 2) 個別避難計画について

・難病に指定されている方や災害リスクが高い地域に居住している方を優先して個別避難計画を作りたい。(島本町長) / ・昨年度、国のモデル事業にエントリーし、個別避難計画の作成に取り組んだ。得られた知見や経験を他地域にも水平展開したい。(枚方市) / ・より身近に感じられる個別避難計画を立てることを促すために、学識経験者からのアドバイスも参考にしながら、今年度ハザードマップを見直す計画である。(東大阪市)

## 基調講演「命を守る防災情報 ～実際の避難行動につなげるために～」

◆ 気象予報士のほか防災士の資格をお持ちで、気象解説者として関西テレビのニュース番組や多くの講演会でもご活躍されている片平敦氏にご講演をいただきました。



講演者 片平敦氏

講演のようす

## 3) 情報伝達について

・情報伝達の多重化を進めていく中で細かな情報の伝え方が課題。(吹田市) / ・防災アプリで防災システムの構築をしている。(大東市)

## 4) 地域のサポーターについて

・自治会の加入率が低下しており、各地域に補助をして地域で核になるような防災士を育てる取組を考えている。(島本町長) / ・自治会や町会中心であった避難所の運営について、防災サポーターの方々とも一緒に新しい運営方法を考えていきたい。(摂津市) / ・今年3月に発足した市民防災協議会のもと、防災活動のサポートや防災リーダーの育成に取り組んでいきたい。(高槻市) / ・自主防災会から推薦された方に全額補助し、防災士の資格取得を支援している。(茨木市)

## 5) その他

・避難率向上のためには、避難所の環境整備(クーラー、Wi-Fi等)が重要である。(島本町長) / ・淀川沿川で避難ビルの確保を現在の2事業所から沿川全域に広げていきたい。(寝屋川市)

## 淀川管内水害に強い地域づくり協議会の規約改正、活動報告および重点取組

◆協議会の構成員の組織名称変更に伴う規約改正を行いました。

◆協議会における令和4年度の活動内容を確認するとともに、令和5年度は「要配慮者利用施設における避難計画等の策定及び避難訓練の実施」を重点取組とし、避難確保計画の作成について100%達成を引き続き目指すと共に、特に要配慮者利用施設の避難訓練の実施に重点を置いて取り組むことを確認しました。

## ◆開催概要

日時：令和5年6月14日(水) 10:00～12:00  
場所：国民會館 大ホール  
参加者：18機関から首長会議構成員(代理出席を含む)20名が出席

## 【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
淀川河川事務所 流域治水課  
〒573-1191 枚方市新町2-2-10 TEL 072-843-2861

